

豊橋市立老津小学校

【めざす子どもの姿】 未来に目を向け、問題解決力を高める子ども

2年・生活「野菜、だーい好き！」 ♥食の知識と健康を未来につなぐ♥ 【能力】④コミュニケーション力
【態度】⑦進んで参加する態度



野菜博士って何でも知っている。
おいしい野菜にするぞ

〈実践の概要〉 野菜が好きになるよう1人1人が育てたい野菜を決めて栽培活動をスタートした。地域の野菜博士に教えてもらえるため、例年と違った意欲を感じた。

おいしい野菜に育てるためにどんな世話をしていたらよいか伝え合う場面でも、子どもたちは熱心に調べたこと考えたことを発表した。

カレーを作って食べる日が近づき、栄養士の方から野菜パワーについて知ると、ますます子どもたちは野菜への関心を高めた。



いよいよカレーを作って食べる日。家庭から9人の母親が参加し、子どもたちといっしょになってカレーを作って食べた。どの子も、おいしいと大満足だった。野菜好きの姿が見られた。

〈実践による変化〉 トマトを食べられなかった子が、みんながおいしそうに食べるのを見て1つ食べることができた。家ではもりもりカレーを作って食べたいという子が多く、野菜への見方が変わった。野菜が好きになってきた様子はA子の振り返りからもわかる。

【A子の振り返り】 みんなが、「トマトおいしい」と言っていたから、自分も食べてみたらすごくおいしかったです。きらいな野菜があったけど、小さくして食べたらすごくおいしかったです。また、野菜たっぷり元気もりもりカレーを作って食べたいと思いました。

4年・総合「老津の海調べ隊！」 ♠先人の努力を未来につなぐ♠ 【能力】③多面的・総合的思考力
【態度】⑥つながりを尊重する態度



〈実践の概要〉 校歌の歌詞「みなと大津の昔より」に着目し、校区探検で海の痕跡を探した。埋め立てられ森が広がる光景を目の当たりにして、昔の海がどのようなであったか思いを巡らせた。

聞き取り調査を進めていくと、アサリやノリが豊富にとれた豊かな海であったことがわかった。その豊かな海を、なぜ埋め立ててしまったのかを疑問に思い、さらに追究を進めた。埋め立てに賛成や反対、将来への希望や不安など様々な思いがあったことを知った。

地域の古老に来ていただき、お話を聞いた。ノリの減収、豊川用水開通、企業の誘致などの状況を考え、海を手放す苦渋の決断をしたことがわかった。その後、苦労と努力によって施設園芸の発展につなげていったこともわかった。

子どもたちは、今の老津の発展が、先人の苦労と努力によるものであることがわかり、みんなにも知ってほしいと考えた。



〈実践による変化〉 子どもたちは、今まで気がつかなかった校区の変化に気づき、先人の苦労や努力を家庭や全校児童に伝えていきたいと思いを高めた。また、地域の方への尊敬や、地域への愛着を深めた。

【B子の振り返り】 昔の老津の人たちの苦労と努力を、自分の子どもたちにも伝えて、老津の農業がこれからもずっと盛んだといいと思います。自分も、家の農業を継いでいきたいと思います。農業を継がない人も、老津の人のがんばりを見習って生活できるといいと思いました。

【老津校区と子どもたち】 老津校区は、千両ナス・トマト・キャベツなど、野菜作りの盛んな地域である。3世代家庭の割合も高く、学校や地域の活動に協力的である。子どもたちは素直で思いやりがあるが、やや控えめである。地域の教材や人材を生かしながら問題解決的な学習を行い、よいことを未来につないでいこうとする意欲的な子どもたちを育てたいと考え、総合的な学習・生活科を軸に授業実践に取り組んでいる。